

we have civic pride
and enjoy "kisela
kawanishi" public-life
with you all !



キセラ川西

Kisela Kawanishi

キセラ川西市民プログラム

“ワクワク” することを “やっちゃおう” !

Vol. 8
NEWS

2017.3.18 sat.

2017年3月18日、第8回目のキセラ川西「市民プログラムワークショップ」が行われました。今回は、19名の参加者が集まり、「キセラ川西せせらぎ公園」での活動の実現に向け、チームに分かれて次年度の活動計画や、プラットフォームとしての「キセラカフェ」のあり方について話し合いをしました。

最後に、大阪府立大学大学院生命環境科学研究科の武田重昭先生から、次年度以降の活動についてアドバイスを受けました。



今年度最後の
ワークショップ
次年度からの運営スタイル
等について話し合いました

PROGRAM

01. はじまりのあいさつと情報提供
02. 前回ワークショップの振り返り & 本日の説明 ・ 試行活動等の報告
03. 来年度の活動計画
・ 年間スケジュールの確認等
04. 来年度のプラットフォーム
「キセラカフェ」についてアイデア出し
05. 全体発表
06. 参加者全員一言感想
07. おわりのあいさつ

OVER VIEW

日時 2017年3月18日(土)
9時半～12時
場所 アステ川西市民プラザ
マルチスペース2
参加人数 19名



TOPIC

■水生生物調査・観察会の試行実施

3/4に、自然チームのホタル復活プロジェクトとして川西北小学校前の水路とせせらぎ遊歩道南線水路の2箇所水生生物の調査・観察会をしました。

チームのメンバーが解説をしました!



■会議室を利用してミーティング

2/18に、のんびり地域活性化チームが試行活動の実施に向けてミーティングをしました。「ゆめほたる」の渡邊さんも参加下さり、案内板づくりのプログラムについて、アイデア出しをしました。



キセラカフェのお知らせ

■日時: 2017年5月13日(土)
13:00～15:00

■場所: キセラ川西オリヴィエマンション 集会所

■参加費: 200円(お茶代)

■内容: お茶を飲みながら気軽に集まれる場所

- ①キセラ川西公園の紹介
- ②公園でやりたいことを自由にアイデア出し
- ③今後のキセラカフェの進め方について

●問い合わせ先

川西市役所 5階 キセラ川西整備部地区整備課

担当: 山角、古山

〒666-8501 川西市中央町12番1号

電話: 072-740-1207 FAX: 072-740-1330

メールアドレス: kawa0193@city.kawanishi.lg.jp

REPORT.1 (PROGRAM 01)

- 来年度以降のスケジュール確認(工事やイベント申請)
- 市民プログラムの活動拠点施設について

Summary
01

工事、イベント申請、市民プログラムについて、
来年度以降のスケジュールを確認して、情報共有をしました



せせらぎ遊歩道南線

Summary
02

BIG NEWS!!

キセラ川西せせらぎ公園
での活動拠点施設の整備費
が予算化されました

「公園内に市民活動の拠点となる施設がほしいね」というみなさんの声が、公園の計画に反映されました! 次年度以降もキセラのまち・公園づくりを協働で進めていきましょう!

《工事のスケジュール》

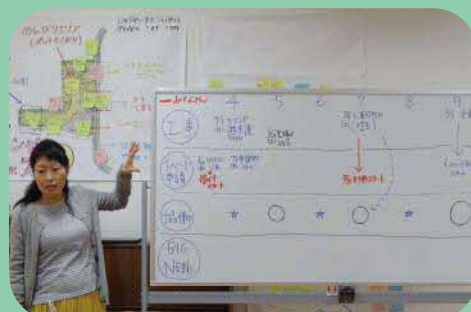
- ・4/3 せせらぎ遊歩道 OPEN
- ・5/20 芝張りワークショップ
- ・7/8 公園 OPEN(芝生広場除く)
- ・9月 公園全面 OPEN

《イベント利活用のスケジュール》

- ・3/24「利活用ガイドライン」公表
- ・4/3 イベント活動等申請受付開始
- ・7/8～市民プログラムWSチームと市主催・共催のイベント等利活用開始
- ・9月～一般イベント等利活用開始

《協働のスケジュール》

- ・次年度も引き続き市民のみなさんと協働でキセラのまちや公園づくりを考える場をつくる(1回/2ヶ月程度)



REPORT.2 (PROGRAM 02 ～ 05)

- 試行活動の報告 ●来年度の「活動計画カレンダー」づくり
- プラットフォーム「キセラカフェ」のあり方についてアイデア出し ●交流会

1 試行活動等の報告…遊び・自然・のんびりチーム

- ◆遊びチーム、自然チーム、のんびり地域活性化チームから試行活動や会議室利用、関連する活動について報告がありました。

プレーパークを知る
フォーラムに参加
しました!

水生生物の
調査・観察会
を試行実施しました

会議室利用で
ゆめほたるとの
連携プログラムを
検討!



2 来年度の活動計画カレンダーづくり

- ◆チームごとに、来年度の活動スケジュールについて、カレンダーを使って検討しました。



3 こんな「キセラカフェ」にしたいな

- ◆来年度以降のプラットフォーム「キセラカフェ」のあり方についてアイデア出しをしました。



4 ひとこと感想…交流会へ

- ◆今年度の市民プログラムワークショップを振り返り、ひとりずつ感想を発表しました。



平成29年度以降の活動やプラットフォームのあり方について意見交換をしました

●平成29年度以降の活動

自然チーム

- 生物が棲むせせらぎの環境づくり
・水量、よどみ、有機物等改善が必要
- 子ども達が遊べる環境づくり
- 100年後を見据えて活動したい！

遊びチーム

- 来年度のプレーパークは定期的開催
・毎月1回開催予定
- 来年度の活動内容は作戦会議で決定
- 他のプレーパーク視察も検討中

のんびり地域活性化チーム

■案内板づくり

- ①公園を探検する（公園を知る）
- ②案内板をデザイン・制作する
※遊びチームやゆめほたとコラボ
※参加者は公募も検討

■カフェ

- ・キッチンカー等を検討

イベントチーム

- せせらぎ KAWANISHI ミュージックマルシェ
・課題や条件を整理中

コンシェルジュチーム

- 「キセラカフェ」の共同開催

●平成29年度以降のプラットフォーム「キセラカフェ」

キセラカフェをこんな場所にしたいな！

●基本の想い

- ・公園の可能性を示したい！
- ・いつも「誰かがいる公園」にしたい
- ・色々な立場の人が集まるから
色々なアイデアがでる

●できる範囲でやってみる

- ・やりたい事のある人を‘じわじわ’集める
- ・「最初から大きく」という考え方は不安につながる…

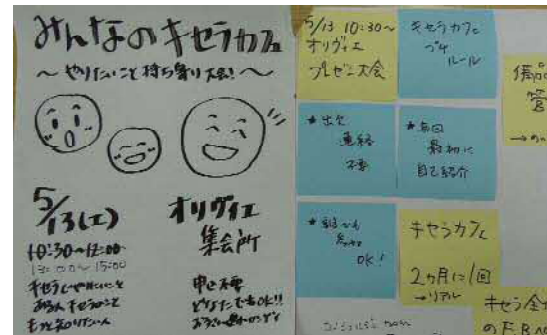
●キセラカフェはこんな場所に…

- ・定期的に開催（2ヶ月に1回程度）
- ・アットホームで楽しい雰囲気
（否定の発言をしない！）
- ・お茶など飲みながら気軽にしゃべり
- ・子どもも大人も、新しい人も参加OK
- ・最初は市の支援も必要

●キセラカフェの内容

- ・企画のプレゼン
- ・相談＆アドバイス
- ・情報交換 ・学習

カフェのスタイルで



キセラカフェの情報を Facebook で共有！！

Facebook ページができました！みなさんの活動の情報を発信、共有しましょう！

私たちの公園プロジェクト キセラ川西せせらぎ公園

検索か QR コードでアクセスしてね！

●「市民プログラム」ワークショップに参加して…感想

- 黒川地区でのボランティア活動をきっかけに、参加。今後は、キセラの野草にも目を向けてもらえるような活動をしたい。
- 台場クヌギへの興味から参加した。今後も公園に移植された台場クヌギを見守っていききたい。
- これまで川に関わる活動に重点的に関わってきたが、このワークショップでは、色々な方の、色々な意見をきくことができて良かった。
- 川西に住んで17年。数年前からワークショップに参加している。キセラの公園を豊かな自然が残る場所にしていきたい。
- 色々なスキルをもっている人が参加していて勉強になった。
- みなさんの熱い気持ちを知った。その気持ちを考えながら維持管理に取り組みたい
- いよいよ中央公園が発着するが、行政の方には、つくれば良いという考えは改めてほしいな。
- 川西に住んで30年。キセラは散歩コースだったこともあり参加。初めて市民活動に参加したが、今後は楽しみでもあり不安でもある。
- まちの中でホテルが見えたらすごいことだ。色々な人とつながりができたことがうれしい。

- 途中やめようかと思ったこともあったが、やっと希望の形が見えてきた。ワークショップは、参加することに意義がある。
- 公園づくりに関わってきた自分の経験が役に立てばと思い参加。いつも誰かがいる公園、付加価値のある公園を目指したい。熱い思いを継続していけるように、不安もあるが参加していきたい。
- 芝生やステージがある公園に可能性を感じて参加した。これから発展すると思いを期待している。
- 人との出会いがあり、良かった、協働で思いを形にしていける難しさがあるのを痛感。先輩方の行動力は勉強になった。
- 川西が変化する場に立ち会い、できあがっていくのを見るのは楽しみ。主体的に関わる事業者の視点と参加する市民の視点をもちながら人のネットワークをつなげるのは難しいが、これからも仲間とともに参加していきたい。
- 地元のことを知らなかったと感じることが多いのだが、ワークショップを通じてつながりの素晴らしさを実感。
- すばらしい公園ができてよかった。

- ダメダメ公園が多い中、子どもたちが育っていく公園なので市民ができることをやっていきたいという思いで参加。途中、運営について大丈夫かなと思ったこともあったが、模索しながら、自分たちのまちは自分たちでつくっていききたいと感じた。
- 毎回終わるたびに「よくわからないな」と思っていたが、オープン日程等具体化の中で、見えてきた感じがしている。先祖代々川西市で川西が好き。出会いに感謝。
- 答えがない中で皆で考えていく形で、やっている途中に消化不良な感じが残ることもあったが、今は、答えがないワークショップだからこそ参加して良かったと実感している。川西市の歴史に残るエポックメイキングなワークショップに関われてよかった。
- 12年前、間をつなぐ NPO 法人を立ち上げた。以後歩んできたことが、お役にたつかなと思いながら参加した。コンシェルジュの考え方に賛同してくれる仲間がいたことがうれしかった。共存共栄という言葉が好きだ。キセラカフェがネットワークづくりのきっかけになれば。

●武田先生のアドバイス

大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 武田重昭先生

●主体性のあり方

来年度から、「キセラカフェ」という名前で、本格的に市民主体で進める運営スタイルに移行する流れの中で、互いに共通する思いを探りながら、新しく参画する人にも伝えることが大切だ。

「利活用ガイドライン」には、皆の力で公園を魅力的に育てたいという思いが詰まっているので、ぜひ活用してほしい。



●場所から居場所へ

公園に管理棟ができるということは、自分ごととして公園を考える‘居場所化’への足がかりになる。公園という場所を造るのは公共の仕事だが、‘居場所’にできるかどうかは市民の仕事だ。

●切磋琢磨して新しい「キセラカフェ」へ

以前に先進事例として紹介した「安満遺跡公園」は、今年度任意団体として目的・ルール・代表を決めて組織化をした。皆さんは、来年度から、カフェ形式・フラットなスタイルでプラットフォームを運営しようとしている。切磋琢磨して互いの良い点を参考にしながら進んでほしい。

●オープンな場づくり

「キセラカフェ」の魅力は、物理的・精神的にオープンであることだ。風や季節を感じられる場所で、誰がいつ来ても良い場であるという‘オープンさ’を大切にしてほしい。

●ムードとシーンを大切に

皆さんが醸し出す‘ムード’が活動を支えている、このムードを大切にしてほしい。人の思いが詰まった情景・‘シーン’が公園で展開されることが公園の価値を高める。皆さんがつくる‘ムード’と‘シーン’が、市民や公園・まちを訪れる人の生活を豊かにするだろう。

「ひとことアンケート」の一部をご紹介します！



《市民プログラムワークショップに参加して…》

- 皆さんの意見を集約して、市民が楽しめる広場になることを期待しています。今回のワークショップは、横のつながりができて有意義でした。
- 出来たてのキセラ川西せせらぎ公園が、充実した公園へ育ってほしいと思うのですが、色々な人の価値観があり、ありのままがいいという意見もあり、落ち葉や虫がいやだという人もいます。そういった価値観の違いをどう調整するのが大変ですね。

《来年度からの「キセラカフェ」への意見…》

- 学習の場、集いの場として川西市の自然の紹介や特産物であるイチジクやモモを使った料理等の講習会の場として、お茶をのみながら楽しめるスペースとなれば良いと思っています。
- 情報が異業種交流から得られる事が良い。いよいよ発進しますが細部についてつめていかなければと思います。